

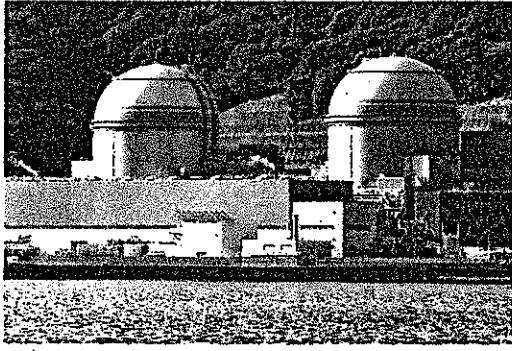
1/17  
原稿

# 警報ない津波想定求める

## インドネシア災害受け 高浜原発に規制委

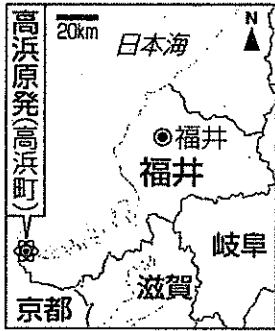
原子力規制委員会は十六

日の定例会合で、関西電力  
に対し、高浜原発（高浜



関西電力高浜原発の（左から）  
3号機、4号機＝高浜町で

町）で津波警報が出ないま  
ま津波が急に襲来すること  
を想定し、浸水などの影響  
評価の報告を求めることを  
決めた。昨年十二月にイン  
ドネシアで火山島の崩壊で  
発生した津波が周辺の沿岸  
を襲った事例を踏まえた。  
同原発は3、4号機が既に



再稼働している。

インドネシアの津波で  
は、火山島アナック・クラ  
カタウが噴火に伴って崩  
れ、大量の土砂が海に落  
ち、津波を発生させたとい  
われている。地震が原因で  
はなかったため現地で津波  
警報を発表できず、ビーチ  
にいた多くの観光客らが被  
災した。

新規制基準に適合した各  
原発では、地震以外に火山  
噴火や地滑りなどで発生す  
る津波も考慮して防潮堤の  
かさ上げなどの対策をして

いる。ただ高浜原発では、  
津波警報の発表後に取水路  
のゲートを閉めて浸水を防  
ぐ対策を策定。ゲートが開  
いたまま、若狭湾沖の大規  
模な海底地滑りで津波が突  
然襲来するケースが想定さ  
れておらず、規制委は追加  
の影響評価を求める。

更田委員長は会合後  
の会見で「警報が出ないよ  
うな津波で施設が深刻な状  
況になるとは考えられな  
い。直ちに危険だというよ  
うな問題ではない」としつ  
つ、予測外の津波で点検や  
巡視中の職員らが影響を受  
ける可能性などを指摘。今  
後は高浜原発の影響評価を  
基に、津波対策の改善点を  
議論する考えを示した。

関電は「今後、詳細を確  
認した上で、適切に対応す  
る」とコメントした。  
(今井智文)